

新潟県特別支援教育研究会 知的障害部（8月3日）

1 はじめのあいさつと講師紹介



新潟県特別支援教育研究会 副会長 岡田 義則様が、はじめの挨拶を述べ、知的障害部 部長 小川 和宏様から、今回の講師である、新潟県作業療法士会こどもサポート委員会理事 室橋 真理子様、千葉県立保健医療大学健康科学部 教授 日本作業療法士協会制度対策部 有川 真弓様、神奈川県麻生支援学校自立活動教諭 日本作業療法士協会制度対策部 本間 嗣崇様の3名の講師の紹介をしていただきました。

2 講演会第一部



室橋様から、作業療法士の視点で、子ども自身のことを見極めたり、かかわり方を見付けたりすることについてご講演をいただきました。「どんな環境や課題なら、その子は力を発揮できるか」という視点で、考えていくことの大切さを教えていただきました。

3 講演会第二部



有川様、本間様からは、作業療法士が様々な分野で活動されていることや、作業療法の大きな視点である「作業遂行」をいかに広げていくかの大切さを教えていただきました。また、子どもの行動の背景要因について、参加者でペアトークをしたり、意見を発表したりすることを通して、より具体的な支援について考えたり、環境調整の工夫について知ることができました。

4 終わりの言葉



知的障害部 地区幹事 清水 和正様が、講師への感謝を述べ、会を終了しました。作業療法士の視点からお話をいただくことで、子どもの見方や環境構成、教具の工夫など改めて考える機会となり、実り多い研修会となりました。研修会に参加してくださった皆様、大変ありがとうございました。